



第 10 回例会

2023.09.27

会員 70 名中 51 名出席 出席率 72.86%  
修正 57 名出席 81.43%  
メイクアップ 6 名

クラブテーマ  
「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」  
方針  
1. ローターアクトの地位向上  
2. 女児のエンパワーメント  
3. DEI の促進 4. ボリオ根絶  
5. ローター行動計画の実施

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



9 月 13 日(水曜日) 芳賀裕パストガバナー様により新会員オリエンテーション、そして全会員セミナーと 2 回に分けてご講演頂きました。

会を段取り頂きましたロータリー情報教育委員会委員長 廣澤俊樹会員には感謝申し上げます。その後は、新会員歓迎夜間例会でアトラクションなど企画して頂き楽しい新会員歓迎例会になり親睦活動委員会林克重委員長はじめ委員会の皆様にも感謝申し上げます。

9 月 16 日(土曜日)第 3 回スポ GOMI 大会が福島ロータリークラブの主催で行われました。当クラブからは 4 チーム”18 名”の参加を頂きました。残念ながら福島成蹊高校インターアクトの学生さん達は学校でコロナ感染があったと言うことで急遽不参加となりましたが、今回、全部で 61 チーム 300 名の参加者で毎年参加者が増え福島の旧市街のゴミを拾い、各チームが拾ってきたゴミを計量し、準位を決めるゲーム感覚のスポ GOMI 大会で、福島市内の美化を目指して参加してまいりました。参加された方々、本当にご苦労様でした。

9 月 20 日(水曜日)本例会は休会でしたが、福島成蹊高校インターアクト例会がここクーラクーリアンテ・サンパレスにて開かれました。結婚式の返信ハガキの書き方、ご祝儀袋の書き方、椅子の座り方、綺麗な姿勢やお辞儀の仕方などを教わり、最後にデザートと紅茶を頂きながらこれからの社会人としてのあり方を学生さんの皆さんに知って頂きました。サンパレス職員の皆様、青少年奉仕委員会伊藤弘子委員長はじめ委員の皆様に感謝申し上げます。



今、日本中、いや県内においてもインフルエンザ、コロナ感染者が増えています。皆様も手洗い、消毒、マスクの着用して自分の体は自分で守ることを常に考えて頂きたいです。



- 効果 1** 気軽に、スポーツで街の環境美化  
スポーツなので、気軽な気持ちで参加しやすく勝ち負けを競いながら、社会貢献活動を始めるきっかけが作れます
- 効果 2** 楽しみながら自然に意識改革を促進  
楽しみながら、環境のさまざまな不便さに気付くようになり、自然と意識改革を促進していきます
- 効果 3** 地域コミュニティなどのリアルな繋がり構築  
インターネットやSNSの時代だからこそ、地域コミュニティなど、いま求められるリアルな繋がりや絆を構築できます
- 効果 4** 子供たちへの効果による将来への持続性  
大人はもちろん、特に子供たちに効果的な社会貢献の促進力を持ち、将来への持続的な社会貢献活動の意識が身につきます

◆RC 地区補助金活用奉仕事業 『母子救護施設支援・目録贈呈』 福島敬香ハイム様

福島敬香ハイム 施設長 市川誠子様へ目録が贈呈されました。

古い建物を改築した母子救護施設にエアコン 10 台を整備することで快適な生活を保つことができ、地域住民のつどいの場所や緊急避難所としてより良く利用できる役割づくりを目的として寄付。





## ◆米山奨学生スピーチ      リン・インテイさん



日本留学は、私にとって非常に貴重な経験です。日本にきて最初の数ヶ月は、とても大変な時期でした。しかし、これが私の成長のチャンスであることを理解して積極的に新しい生活を送りました。言葉の壁は一番大きな挑戦の1つでした。最初は日本語を話すのも、聞き取れるのも出来なかったもので、コンビニに行くことさえ怖かったです。しかし、学校で日本語を一生懸命勉強してバイト先の日本人とコミュニケーションを取り、日本語が少し話せるようになってから日本人の友達を作ることができました。

また、文化の違いも感じました。異なる文化は、日常生活から存在しています。それらの違いを理解し、尊重することは、留學生活を通して学びました。留學生活で感じたもう1つの貴重なことは、日本だけではなくいろいろな国の友達との出会いです。国際的な友情を結ぶことは、私の留學経験の中で価値のある部分の1つです。また、留學生活は、単なる学業だけでなく、自分の成長にもつながりました。自分の限界を超える経験を生かして、知らず知らずのうちに自信もついたり、成長も想像以上に大きかったです。最後に、日本留學では当然ながら日本語力が必要です。また、将来私は日本で就職したいので日本語の学習は続けるつもりです。徐々に上手に日常会話ができるように頑張ります。日本語の学習は大変ですが、日本人とのコミュニケーションを通じて、語学力だけでなく異文化理解も深まることを実感しました。将来は留學の経験を活かし、日本との深い関わりを持ち続けたいと思っています。

先週私は東京で行われた全国国立大学柔道優勝大会に出場しました。団体戦の大会です。福島大学は部員が少ないので九州の佐賀大学と組んで合同チームとして出場しました。結果はベスト16でした。東京学芸大学に負けましたが、良い試合ができたし、日本で試合するという小さな夢も叶いました。7年ぶりの試合でしたが、また試合できるのは何よりも嬉しかったです。



## ◆福島成蹊高校奨学金授与



教頭 鈴木祥之様のご挨拶



## ～ 奨学生・私の“夢”スピーチ ～

3学年 茂木瑠星さん、 2学年 大橋希暉さん、 1学年 堀口初姫さん  
 都市計画に携わり 地方の教育格差を 母のような誰にでも  
 地元の防災計画を なくすため自分が 親身にお世話できる  
 作成したい。 良い例になりたい。 介護士になりたい。

